

在シドニー総領事交流録（第4回） ～ 天皇誕生日レセプション

2月27日木曜日に天皇誕生日祝賀レセプションを総領事公邸で開催しました。

好天にも恵まれ、本年は約200名の方々にご来訪いただきました。お忙しい中のご来訪に心より感謝申し上げます。ご来訪いただいた方々に、日本の魅力をできる限りアピールすべく、日本文化をはじめ、当地で活躍されている日本企業及び商品、そして本年4月から10月まで開催される2025年大阪・関西万博を紹介するとともに、当地で日本文化の普及に貢献された方々の叙勲表彰も行いました。



天皇誕生日は2月23日なのになぜ2月27日と思われる方もいらっしゃるのではないかと思います。レセプションは、現地事情も考慮して何日か前後して開催することが認められており、本年は同日が日曜日と重なったこともあり、少しでも多くのお客様が来られるよう、27日の開催としました。

私は、昨春シドニー総領事になったので、ナショナルデー・レセプションの主催は初めてでした。公邸での設営は、その前の週から始めましたが、例年のことですが、いくら準備してもどうしようもないのが当日の天気です。平成に外務省に入った私には、天皇誕生日レセプションは12月か2月の冬のものと印象が強く、夏の夕方にプールサイドで開催するレセプションは新鮮なものではありましたが、夏とはいえ、シドニーの天候は雨の日も多く予想困難で、雨天も想定した両にらみで準備を進めてきましたので、当日を快晴で迎えられたのは何より一安心でした。

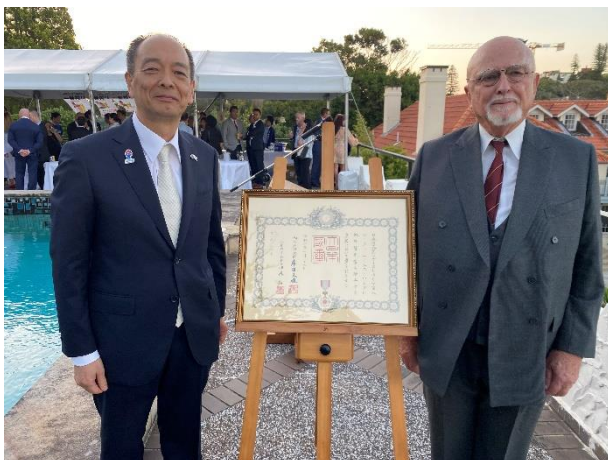


祝賀式典自体は日本と豪州の国歌斉唱で始まりました。Strathfield Symphony Orchestra の芸術監督である村松貞治氏に、将来性豊かな 若手演奏家から構成される Sydney Japanese Chamber Orchestra の指揮・演奏をお願いしました。Kay Hughson さんの美しい歌声との素晴らしい演奏に感動しました。

主賓挨拶は、ミンズ NSW 州首相名代として来られたチャンシヴォン貿易産業等担当大臣にいただきました。ベル州最高裁長官、フランクリン州上院議長といった州要人、カウラ市、ダボ市、ニューカッスル市、インナーウェスト市、ウララ市の市長、そして経済・文化・芸術・スポーツ界からの日豪関係を支える多くの方々を前にしてのチャンシヴォン大臣の挨拶は、日本に対する理解と友情、とりわけ日本文化への愛着をこめられ、随所に日本語をちりばめられた、素晴らしいものでした。



主賓挨拶に続き、ピーター・アームストロング元豪州相撲連盟会長、フィリップ・ミッチェル元全国豪日協会連盟会長（前 NSW 州豪日協会会長）への叙勲伝達式を行いました。アームストロング氏は豪州における相撲の普及に取組まれ、またミッチェル氏は文化、教育、ビジネス等幅広い分野における日豪相互理解の促進に取組まれ、豪州における日本への厳しい見方がまだ残り、そして日本文化への理解がそれほど深くない頃から長年に亙り日本への理解促進に貢献されました。今回、天皇陛下からの勲章と勲記をご両名に授与させていただきましたが、ご両名が多くの御家族に囲まれ、とても誇らしげに嬉しそうにされていたのが、非常に印象的でした。



式典の概要は以上ですが、日本の魅力を最大限に発信するのも、このレセプションの大きな目的で、そのアレンジについて、もう少しご説明します。まずは、公邸玄関で、プラド・ヒロコ氏をはじめとする「いけばなインターナショナル シドニーチャプター」による生け花とともにお客様をお迎えし、その隣の部屋ではベネットめぐみ氏による盆栽をご観賞いただくとともに、福島県産の日本酒も楽しんでいただきました。その後、公邸を抜け外に出たところには、当地の日本企業や日本政府関係機関の展示ブースを設置しました。そうした企業・機関をアルファベット順でご紹介すると、クーパーズ（エビスビール、サッポロビールを提供）、Fujifilm（カメラやマンモグラフィ模型の展示、Instax（チェキ）による即時撮影サービスを提供）、JTB（訪日旅行情報や日豪文化交流事業活動などの案内）、ライオン（麒麟の子会社。麒麟一番搾り、氷結を提供）、Nippon Food Supplies（宝酒造の子会社。スパークリング日本酒の滞を提供）、トヨタ自動車（水素車のFC Crown を展示。主賓のチャンシヴォン大臣も熱心に見学されていました）、政府関係機関ではJETRO、CLAIR、JNTO にブースを出して頂き、大盛況でした。そして帰られる際には、キッコーマンの刺身醤油・焼肉と焼鳥のたれのセット、サントリーのBOSS 缶コーヒーをお土産として、お渡ししました。これらに加えて、大西悟公邸料理人も、各種料理を用意し、お客様をお迎えした次第です。そうした料理の幾つかをご紹介しますと、NH フーズ提供の大麦和牛サーロインのローストビーフ、つくね、海老天麩羅、鰻巻きです。いずれも好評だったようで、各品はあっという間になくなりました。各国がシドニーに設置する総領事館の数は、世界の都市の中で2番目に多い（ニューヨークの次）とのことですが、公邸料理人がいる総領事館は意外と少ないです。大西料理人の長い間の準備のお陰で、日本食の魅力も発信できたのではないかと思います。



今回のレセプションは、多くの方の参加を得て、盛況のうちに無事実施することができました。盛況過ぎて、お忙しい中お越しいただいたお客様の一人一人とじっくりお話する時間が無かったのは残念ですが、改めてお話できる機会があることを楽しみにしております。協賛いただいた企業の皆さま、御協力いただいた皆様、そしてご参加いただいたお客様の皆さまに、こころより御礼申し上げます。